



令和6年5月29日

DF 会員の皆様

一般社団法人ディレクトフォース

事務局長 高橋宜治

技術部会 リスクセンス推進研究会

世話役 立石裕夫

(ご案内) 日本学術会議「安全工学シンポジウム」講演

DF リスクセンス推進研究会のメンバー（3名）が、「安全工学シンポジウム 2024」（日本学術会議主催）で講演します。詳細は次の通りです。

1. 講演日 : 6月27日（木）9:40~11:40
2. 講演会場 : 日本学術会議（東京都港区六本木7-22-34）

[日本学術会議 | わが国の科学者の内外に対する代表機関 \(scj.go.jp\)](https://www.scj.go.jp/)

[- Bing 地図](#)

3. オーガナイズドセッション5

「組織行動マネージメントの事故などの予兆管理分野への展開とその高度化」

4. 講演者 :

梅里泰正会員（220） 「経営が求める現下の安全マネージメント手法」

中田邦臣会員（597） 「組織行動学（OBM）の安全分野向け活用への1提案」

浅野 寿会員（1257） 「人の行動に起因する事故予防（BBS活動の現状と課題）」

5. 参加申し込み事前登録 : [トップ | 安全工学シンポジウム 2024 \(anzen.org\)](https://www.anzen.org/)

シンポジウム参加には上記サイトの参加申し込みから事前登録が必要です。（無料）

予稿集の必要な方は、このサイトから購入可能です。

内閣府 NPO リスクセンス研究会は、過去の大事故を経験した経営管理層と長期無事故運転を経験した経営管理層が、事故の背景にあったマネジメントの教訓を活かし、日常で活用できる簡便な予兆・減災手法として「リスクセンス診断」を開発し普及に取り組んでいます。DF リスクセンス推進研究会は経験豊富な経営視点から、組織のあるべき健全な姿を追求できるこの活動を支援しています。

一方、最近の安全の分野では人的・組織的要因を統合した安全活動が深化し、「安全工学」として体系化して推進する手法が提唱されているため、その一環として本シンポジウムのオーガナイズドセッション (OS) 「組織行動マネジメント (Organizational Behavior Management : OBM) 」の視点から見た研究活動実績の報告セッションが企画されました。経営者が知りたいと思う業務運営におけるリスク、安全且つ健全な職場環境に必要な課題、さらに企業での OBM 活動の事例を紹介し、安全工学を体系化、知識化した研究の成果と課題について 5 つの発表があります。発表内容は、「安全」の冠の下で行いますが、ガバナンス部会、技術部会、環境部会 他の DF の皆さんの活動の目的の一つに挙げられている「健全な組織を構築し、維持・運営する活動」という視点で活用されている手法の発表で、この OS は参加される皆さんとの意見交換にも重点を置いた進捗が予定されています。多くの方の参加を期待します。

お問い合わせ : 立石裕夫 (869) 090-7235-8377 hiroo_tateishi@jcom.home.ne.jp

以上